

本学の個人情報保護に関する取組みについて

学生、卒業生、保証人の個人情報は、個人の尊厳および基本的人権の尊重の立場から、確実に保護されなければなりません。本学では、個人情報の保護に関する法律や政令、文部科学大臣が定める指針等の基準を遵守しながら以下に示す方針に従って、学生、卒業生、保証人の個人情報の保護に努めます。

個人情報とは

在籍中の学生、過去に在籍していた学生、入学予定者、卒業生、保証人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述などにより特定の個人を識別することができるものをいいます。

個人データとは

個人情報のうちデータベース（事務電算システム）に管理された情報およびデータベース（事務電算システム）から引き出された、または印刷された情報をいいます。

適正な取得

個人情報を取得するときは、適正な手段により取得します。なお、思想、信条および宗教に関する情報は、いかなる理由があってもこれを取得しません。

利用目的の明示

個人情報を取得する場合は、あらかじめその利用目的を明示します。利用目的を変更した場合は、変更された目的について通知または公表により明示します。

利用目的の特定

個人情報は、本学の教育・研究および修学上に必要な業務を遂行するために次のように利用します。

利用目的

1. 学生

入学関係：

入学志願者に対する選抜試験の運営、入学手続など

教務関係：

履修相談・修学指導、修学状況確認、特待生選考などの学業奨励、保証人への成績通知、研究活動支援、履修登録、教職等諸資格課程登録、教育実習などの実習関係、授業・試験運営、成績処理、単位認定、進級・卒業判定、諸資格判定、学位記授与、転部（転科）試験、単位互換履修、海外留学、海外語学研修、国際交流など

学籍関係：

在籍、学生証発行、休学、復学、退学手続など

学生生活：

学生生活全般に関わる指導・助言、福利厚生施設の紹介、奨学生選考、奨学金交付・償還、定期健康診断、健康相談、学生相談、課外活動支援、弔慰・災害見舞など

進路関係：

キャリア形成支援、求職登録、就職斡旋、資格取得のための課外講座運営

施設利用：

図書館情報センター、情報処理教育センター、LL教室、教室、スポーツセンターなど体育施設、駐車場、研修施設などの利用

その他：

各種連絡・通知、諸証明書発行、用具・備品等の貸与、学則による処分、愛知学院大学後援会ならびに愛知学院大学同窓会との共同利用、本学が設置した事業会社との共同利用

2. 卒業生

証明書の発行、大学行事ほか大学からのお知らせ送付、寄付に関すること、大学教育の成果や就職等の各種アンケート等の依頼、愛知学院大学同窓会との共同利用、本学が設置した事業会社との共同利用

3. 保証人

学生の修学指導などに必要な連絡、各種送付物（学納金納付書、大学行事の案内、大学だより、各学部からの連絡事項など）の発送、愛知学院大学後援会との共同利用、本学が設置した事業会社との共同利用

上記のほか、管理・運営にかかわる業務において、必要な事項を処理するために使用します。

安全管理措置

個人データに対しては、それらを漏洩、滅失または毀損することがないように、安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。教職員が個人データを取り扱う場合は、安全管理が図られるよう、当該教職員に対する必要かつ適切な監督を行います。個人デー

タの取扱いを外部の業者等に委託する場合は、その取扱いを委託された個人データの安全管理が図られるよう、委託を受けた者に対する必要かつ適切な監督を行います。

第三者提供の制限

個人データは、あらかじめ本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。ただし、（１）法令に基づく場合、（２）個人の生命、身体、または財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき、（３）その他、教育、研究、および修学上、学長が必要であると認めた場合はこの限りではありません。

開示

本人から、当該個人データの開示を求められたときは、本人に対し当該個人データを開示します。ただし、開示することが適当でないと判断したときは、開示しないことがあります。その際には、本人に対して理由を付して通知します。

訂正等

本人から、当該本人が識別される個人データの記述内容が事実と異なるという理由によって、当該個人データの訂正、追加、または削除が求められたときには、利用目的の達成に必要な範囲内において、必要な調査を行い、その結果に基づき、当該学生データの訂正等を行います。